「ニッサン パビリオン」日本空間デザイン銅賞受賞

日産自動車株式会社 2021年11月12日

日産自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市西区、社長：内田 誠）は、2020年8月1日より10月23日まで期間限定で開設していた体験型エンターテインメント施設「ニッサン パビリオン」が、日本空間デザイン賞の「エキシビジョン、プロモーション空間部門」において銅賞を受賞したと発表しました。

国内外の優れた空間デザインを表彰する本賞は、2019年に日本最大級のデザインアワードとして創設されました。本年は、2020年5月1日から2021年4月30日までの作品が対象となり、国内外からから887点の応募がありました。また、主催団体である日本商環境デザイン協会（JCD）と日本空間デザイン協会（DSA）は、国連が採択する「持続可能な開発目標（SDGs）」に向けた活動に賛同しており、審査基準には、時代性、創造性、社会性、文化性、意匠性とともに持続可能性が設定されています。

今回、銅賞を受賞した「ニッサン パビリオン」では、持続可能性を高める数々の取り組みを実施しました。例えば、施設内のカフェでは、太陽光パネルで発電した電力を活用することに加え、電気自動車で来場されたお客さまに対して、駐車料金の代わりにバッテリーに蓄電した電力をカフェに給電するという世界初の仕組みを採用しました。さらに、100%水力由来の電力（アクアプレミアム*1）を使用するなどし、施設全体でCO2排出量ゼロを実現しました。

また、開設期間終了後には、施設で使用された資源のうち、再利用可能なものについてはすべて転用し、廃棄ゼロを達成しています。例えば、「日産リーフ」の使用済みバッテリーや、ライト、便器、消火器などを、本社、工場を含む日産の国内の事業所で再利用しています。また、連携協定を結ぶ横浜市を通じて、街と光のアートイルミネーション*2に映像機材を提供しました。さらに、パビリオンで使用したブランドロゴは、現在、日産グローバル本社ギャラリーで使用しています。

■ 日本空間デザイン賞とは https://kukan.design/

日本空間デザイン賞は、2019年に創設された日本最大級の空間デザインアワードです。世界に向けて空間に関わる優れたデザインやデザイナーを表彰し、新しい空間デザインの可能性を拡げることを目指しています。複雑化する社会の課題を、デザインよって切り拓き、次世代の指標となる創造的なプラットフォームを構築します。

*1 ニッサン パビリオンでは、東京電力エナジーパートナーが提供する、発電時にCO2を排出しない水力発電のグリーン電力メニュー「アクアプレミアム」を採用しました。アクアプレミアムについての詳細はこちらをご参照ください

https://www.tepco.co.jp/ep/eco/plan/corporate/index-j.html

*2 クリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会事務局主催